

令和5年9月15日（金）

学部学科研究会 を実施しました



1, 2年生が希望する10講座に分かれて、模擬講義を受講しました。

(1) 人文科学 富山大学 人文学部 鈴木 景二 先生 「大学での勉強と研究」

展覧会や城跡を実際に見に行き歴史の関心を深めたいと思いました。自分の興味を持てるものが愛好だけでなく研究段階までいけるようなものが見極めていきたいです。(14H)

(2) 社会科学Ⅰ 富山大学 経済学部 小柳津 英知 先生 「大学で学ぶ“経済学”の特徴について」

私は経済よりも経営に関することを学びたいと思っていたので、今日の話聞いて、文理選択や大学選びなどで企業経営や経営情報やマーケティング系のことを学べるように選択していこうと思いました。(14H)

(3) 社会科学Ⅱ 公立小松大学 国際文化交流学部 朝倉 由希 先生 「観光学の新たな展開と南加賀の地域創生」

観光業をより盛り上げていくために自然を保全したり、伝統を保持したりすることが大切だと思いました。富山の文化をもっとたくさんの人に広めたいと思いました。(22H)

(4) 教育 富山大学 教育学部 佐伯 聡史 先生 「学習内容の正確な理解と新しい指導法の確立」

できないと思っていることでも諦めずに何が原因かを考えて解決策を考え、何回も練習すれば必ずできるようになるということがとても印象に残りました。(24H)

(5) 理学 富山大学 理学部 数学科 山根 宏之 先生 「グラフのハミルトン閉路」

先生は、何日も何週間もかけてハミルトン閉路の一筆書きを考えていることを知って、ケイリーのグラフのように自分も1つのことに対して、地道に努力していきたいと思いました。(21H)

(6) 工学Ⅰ 富山大学 工学部 電機電子工学コース 伊藤 弘昭 先生 「社会を支える電気電子工学技術」

環境にやさしいエネルギーを活用しようとすると、今の日常を続けていくのが難しいことが分かりました。そのため、新しい技術を考える力が必要になってくると感じました。(21H)

(7) 工学Ⅱ 富山県立大学 工学部 医薬品工学科 米田 英伸 先生 「医療分野で酵素やタンパク質を利用する」

自分の身の回りのものから酵素が含まれる成分を見つけ、またその働きを実際に確かめてみるのも面白そうだと思いました。(11H)

(8) 医療 公立小松大学 保健医療学部 臨床工学科 佐藤 宜伯 先生 「最新医療技術と臨床工学技士の役割」

医療職には特殊な能力・才能は要らず、「大勢の人に役に立ちたい」この思いがあれば医療関係者になれるというのは、どの職にも大学選びにも通じていると思いました。(23H)

(9) 看護 富山大学 医学部 看護学科 高倉 恭子 先生 「在宅療養生活を支えるケアについて」

訪問看護にはできることがたくさんあって、それによって家族が助けられていることが分かりました。人が家で過ごしたいという願いを叶えるために働く存在は素敵だと思いました。(12H)

(10) 福祉 金城大学 人間社会科学部 社会福祉学科 岡村 綾子 先生 「援助とは何か」

援助する人が親切で、しない人が不親切というわけではなく、時には援助しない方がよい場合もあると知りました。親切と大きなお世話は紙一重で、援助される側の受け止め方で変わると分かりました。(11H)

